

名古屋市立大学
開学70周年記念事業



アートで もっと 病院を元気に!!



富山県ツハビビテーション病院・子ども支援センターの交流ロビー（連続講座第1回関連画像）

ヘルスケアアートマネジメント 連続講座 受講無料・要申込

3年目となる今年は…
オンライン講座
事前にガイダンスを行います!

医療や福祉の現場において総合的・体系的なアートマネジメントのできる人材の育成をめざし講座を開講します。医療やデザイン、アート、文化芸術活動などさまざまな実践を積み重ねてきた講師から、医療や福祉施設における患者さんとその家族や医療関係者とアートとの関わりを学び、アートマネジメントの役割や意義を考えます。どなたでも参加いただけます。

キックオフ講座 この講座だけの受講も可。詳しい内容は裏面参照。

2020年7月4日(土) 16:00-18:30

連続講座全8回 講義6回とふり返り会、任意参加の交流会があります。連続での受講を基本とします。詳しい内容は裏面参照。

7月8日-8月26日(水) 18:30-20:30

※都合により内容や日程等が変更になる場合があります。

本講座は Web 会議ツール
Zoom を使います。

※録画配信ではなくライブ配信の参加型です。※zoomアプリのダウンロードをしますが、アカウントを取る必要はありません。



PC・タブレット・スマホのいずれかが必要です。※OSやブラウザは最新版をご利用下さい。



ネット環境が必要です。
(講義2時間 1GB程の通信容量見込)
※光回線の有線接続、高速 WiFi (無線 LAN) 等の高速通信を推奨します。

オンラインガイダンス
6月27日(土) 14:00-15:00

接続確認と基本的な使い方の解説のほか、本事業委員長の鈴木賢一教授より事業概要などをお話します。
◎講座で行うグループワークの説明や体験もします。

申込方法 先着各100名定員・期限 6月26日(金)

ホームページの申し込みフォームから送信。
<https://healthcare-art.net>

後日、申し込みのメールアドレスに事務局から講座とガイダンスの招待 URL や注意事項を送ります。



※申込期限内であっても定員に達した際は受付を終了する場合があります。
※お申込みにより取得した個人情報は、本事業の目的以外では使用しません。
※キックオフ講座は単発の受講ができますが、連続講座は第2回を除き継続して受講いただくことを基本とします。都合により欠席される場合はご連絡ください。
※不明な点やご要望のある方はメールまたは HP からお問い合わせください。
※申し込み後の受付確認メール(自動返信)が届かない場合は、メールまたは HP からお問い合わせください。メールアドレスは下欄を参照ください。
※最新の情報を HP や SNS でご案内しています。合わせてご確認ください。





患者・家族のケアに寄り添う デジタルアート

看護師としての臨床経験をもとに開発した医療現場におけるデジタルアートの実践や、課題解決への新しいアプローチについてうかがいます。

吉岡 純希 株式会社 NODE MEDICAL 代表



医療施設におけるデジタルアートの取り組み

連続講座全8回 7月8日-8月26日(水) 18:30-20:30 第2回の交流会を除き連続受講を基本とします



第1回 7/8 アートを取り入れた 病院設計の現在と未来

病院空間にアートを取り入れることの効果や課題、最新事情について、建築家の立場から話をうかがいます。

室殿 一哉 (株) 佐藤総合計画 執行役員
アーキテクトサークル・プリンシパル



第2回 7/15 オンライン交流会【任意参加】 「あなたの思うヘルスケアアート」

受講生の方からヘルスケアアートの事例とどうしてそう思うかを発表してもらい、ヘルスケアアートについて語り合います。

鈴木 賢一 名古屋市立大学大学院
芸術工学研究科 教授



第3回 7/22 みんなで描く 病院とアートの未来

筑波大学附属病院等でのアート導入の事例や、NPO法人「チア・アート」の立ち上げや取り組み、運営の課題などをうかがいます。

岩田 祐佳梨 NPO法人チア・アート 理事長



第4回 7/29 医療空間における アートプロデュース

病院や福祉施設にアートを導入する際のアーティストの選定や役割分担、課題などマネジメントの実践的な話をうかがいます。

吉田 祐美 株式会社タウンアート 取締役



第5回 8/5 医療の質と安全を 向上させるアート

安全で質の高い医療を提供する経営にアートを応用する実践を紹介していただきながら、その媒介力や可能性についてうかがいます。

山口(中上) 悦子 大阪市立大学医学部
附属病院 医療の質・安全管理部 部長・病院教授



第6回 8/12 メンタルヘルスケアにおける アートの活用と可能性

国内外における事例を紹介いただきながら、精神医療の分野でのアートの活用についてうかがいます。

竹島 正 全国精神保健福祉連絡協議会 会長
川崎市精神保健福祉センター 所長



第7回 8/19 病院運営における アートの役割

2015年の新病棟建設を機に本格的にアートを取り入れた病院運営について、医療者・経営者の立場から話をうかがいます。

奥村 伸二 耳原総合病院 院長



第8回 8/26 ふり返り：意見交換と 希望者による発表

連続講座を受講しての感想や、ヘルスケアアートの今後の展開についてのアイデアをシェアするほか希望する受講生による発表などをします。

鈴木 賢一 名古屋市立大学大学院
芸術工学研究科 教授



写真提供 タウンアート



(写真左から) 職員と作り手の交流イベント「アートカフェ」(第3回) / 高知赤十字病院での地元職人とのコラボ(第4回) / 職員・学生向けチームトレーニング用教材として開発したアニメーション(第5回) / 全国精神保健福祉連絡協議会主催「かく、みる、つなぐ-こころの軌跡をたどる」展(第6回) / 耳原総合病院緩和ケア病棟のベッドのまま出られる空庭と桜(第7回)